

職員による自己評価

A環境面

- ・子供が活動しやすい環境作りをしている。
- ・建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいが、安全面に留意し設備等の配置を行っている。

B適切な支援の提供

- ・会議等で情報交換・共有を行い、個々への支援に関する内容等は職員間で丁寧に検討がされ、実施出来ている。
- ・常に支援の質の向上に努めている。

C関係機関との連携

- ・学校等の関係機関と情報交換・共有しながら連携を図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・定期的な面談や保護者会を実施している。
- ・相談や申し入れがあった場合は、電話や手紙面談等にて迅速かつ丁寧に対応している。

E非常時等の対応

- ・年2回避難訓練の実施や社内研修等でしっかりと行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・子供が混乱することなく、活動しやすい。
- ・外階段に手すりがないのは心配。

B適切な支援の提供

- ・子供が好きな事や興味のある物を取り入れている。
- ・感染症に配慮しながら、交流や機会を作ってくれている。

C保護者への説明等

- ・とても丁寧な説明でわかりやすい。
- ・手紙や電話等、常に状況を伝えてくれ、対応も早い。

D非常時等の対応

- ・対応マニュアルもあり、共有出来ている。

E満足度

- ・とても満足している。
- ・通うことを楽しみにしており、安心出来る場所になっている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・支援内容や保護者対応については適切かつ丁寧に行っていることで信頼関係の構築、満足度に繋がっている。

【相違点】

- ・外階段の手すりがない事への不安がある。契約時に安全面に考慮し支援する事は伝えてあるが、再度説明をしながら、ご理解をいただく。（管理会社に手すりの設置をお願いしたが出来ないとの回答だった）

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・個々に応じた計画の作成や、支援をしっかりと行っている事で、児童や保護者の高い評価をいただいている。
- ・イベントの実施等で体験や経験の機会を多く設け、児童や保護者の満足度に繋がっている。
- ・日々の支援が成長に繋がっている。

事業所の改善点

- ・コロナ禍もあり、関係機関との連携が難しかった。今後は訪問等、機会を増やしていくよう努める。
- ・外部研修等の機会を増やしていき、支援の質の向上に努めていく。
- ・外階段を使用時には安全面に留意した支援の強化を行い、ご理解をいただく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

初めての自己評価だったが、保護者アンケートのご協力には全員が回答・ご提出をしていただけた。
職員もアンケートを実施することで教室の強みや改善点等を再認識することが出来た。
今後もより良い施設運営を心掛け、質の高い支援に努めていきたい。
また、児童や保護者の満足度をさらに高めていけるよう
より一層の努力と改善を図っていきたいと思う。

事業所名 くれよんきつず 都筑教室

担当者 管理者 小泉 沙耶香